

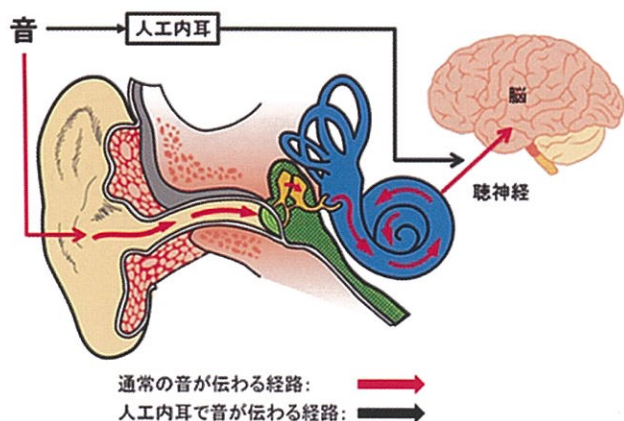
# 人工内耳埋込術

名鉄病院では令和2年4月より中耳サージセンターを開設し、主に真珠腫性中耳炎、慢性中耳炎、耳硬化症などの耳疾患の手術を年間100件以上行っています。

このたび、新たに施設基準を取得して、人工内耳埋込術を行う体制が整いました。

人工内耳は現在世界で最も普及している人工臓器の一つで、補聴器を使用してもほとんど聞き取ることができない難聴に対して唯一の聴覚獲得方法です。

世界中で40万人以上の方が使用し、日本でも全国で年間1000人以上の方が手術を受けています。人工内耳の機器や手術手技は近年目覚ましい進化を遂げており、2017年には手術適応が改訂され拡大されています。これまでの適応であった重度難聴の方に加え、高度難聴の方で補聴器を活用してもことばの聞き取りが十分ではない（最高語音明瞭度が50%以下）方も適応となりました。



人工内耳は蝸牛の代わりに音を電気信号に変換し、蝸牛神経を直接刺激して脳へ電気信号を送る装置です。蝸牛神経を直接刺激することで、脳で環境音や音声、言葉を感じることができます。

図：日本耳鼻咽喉科学会ホームページより引用

難聴でお困りの方や、人工内耳装用をお考えの方は、どうぞご相談ください。

## 医師の紹介



植田 広海  
(うえた ひろみ)

### 経歴

昭和54年 名古屋大学医学部卒業  
 昭和54年 大垣市民病院  
 昭和55年 名古屋大学医学部附属病院  
 昭和61年 聖霊病院  
 平成元年 名古屋大学医学部附属病院  
 平成13年 日本赤十字社愛知医療センター  
 名古屋第一病院部長  
 平成21年 愛知医科大学教授  
 令和2年 名鉄病院耳鼻咽喉科部長・中耳サージセンター長

### 資格

○耳鼻咽喉科専門医・指導医  
 ○耳科手術暫定指導医  
 ○補聴器相談医

